あとがき

「今年（2013年8月1日）から生活保護費が削減されたことに対して抗議の意志表示をしたいから、自費出版したい」

そのような思いをこめて精神障害者の当事者であるわたしは、本書を出版することにした。

精神障害の問題でも、生活保護の問題でも、いちばん苦しい思いをしているのは、当事者である。何の運動でも、まず、当事者が声を上げる必要がある。当事者の切実な声を支持者がそれぞれの専門的知識を行使しながらサポートしていく。そうしてこそ、運動は進むのである。この一文がそうした役割を果たすことを願っている。

2013年9月11日　西川 宜秀